8　芸術（書道）

学校番号	４１７

平成３１年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・昔の人たちが残した価値ある古典の学習を通して、様々な線質や字形、技法などを習得し、自分で作品を創れるようになりましょう。
・漢字から仮名、漢字仮名交じり、篆刻に至るまで、構成や線質、字形を生徒自ら考え、自主的に作品制作を行うことができる力を身につけましょう。
・日常目にする書には、作者の意図が組み込まれていることを理解し、日ごろから書を愛好する心情を育てましょう。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート 提出作品	観察 ワークシート 提出作品	観察 ワークシート 提出作品	観察 ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	題材名	学習内容･活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	仮名の書	・仮名の成立・鑑賞 ・仮名の用筆法・運筆法	○	○			a:墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。	観察 ワークシート 提出作品
5	仮名の書	・古典臨書・鑑賞 （高野切第三種） （関戸本古今和歌集） （継色紙）	○	○		○	a:仮名の古典の美とその技法に関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:仮名の書の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 d:墨色の変化と全体の構成の工夫を理解し、そのよさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
6 7	仮名の書	・創作の仕方を学ぶ ・古典を用いて創作作品を制作	○		○		a:自らの感性や意図に基づいて，単体，連綿や全体の構成を工夫しようとしている。 c:創造的な書表現をするために、線質、字形、墨色、全体の構成などを理解し、表現している。	観察 ワークシート 提出作品
9	漢字の書 （隷書）	・隷書の成立・鑑賞 ・隷書の用筆法・運筆法 ・古典臨書・鑑賞 （乙瑛碑） （曹全碑）	○	○		○	a:漢字の隷書古典の表現技法を身に付け、基本的な運筆法、用筆法を習得しようとしている。 b:漢字の隷書の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 d:漢字の隷書古典の美しさと構築的な構造を理解し、見ることを楽しむことで書への関心を高めている。	観察 ワークシート 提出作品

10	漢字の書(隷書)	・創作の仕方を学ぶ ・古典を用いて創作作品(カレンダー)を制作	○		○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
11	漢字の書（篆書）	・篆書の成立・鑑賞 ・用筆法 ・古典臨書・鑑賞（泰山刻石）	○	○		○	a:漢字の篆書古典の表現技法を身に付け、基本的な運筆法、用筆法を習得しようとしている。 b: 漢字の篆書の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 d:漢字の篆書古典の美しさと構築的な構造を理解し、見ることを楽しむことで書への関心を高めている。	観察 ワークシート 提出作品
12	漢字の書（篆書）	・古典臨書・鑑賞（石鼓文）	○	○		○	a:漢字の篆書古典の表現技法を身に付け、基本的な運筆法、用筆法を習得しようとしている。 b: 漢字の篆書の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 d:漢字の篆書古典の美しさと構築的な構造を理解し、見ることを楽しむことで書への関心を高めている。	観察 ワークシート 提出作品
1 2	篆刻	・小朱文印の制作	○		○	○	a:名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている c: 印稿づくりにおいて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け表している。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
3	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書とは ・漢字と仮名との調和 ・線質・構成について ・学習済み古典から1つ選択し作品制作	○		○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 ワークシート 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。